



第1号
令和2年4月30日
庄和すずらん幼稚園

新しく入園された皆さま、そして、進級された皆さま、おめでとうございます。この“保育だより”は、すずらん幼稚園の園運営や教育理念、教育内容、教育方法、そして具体的な実践を、皆さまに知っていただく一助として、思いつくままに発表させていただく欄を“保育随想”“幼稚園情報”として、園長が担当し、毎月一回を目安に配布させていただくものです。

保育随想

★ 内なる自律！

令和2年度の幼稚園生活が始まりました。在園していて進級した人、森のひろば保育園、緑の森保育園、その他の施設を卒園して来た人、そして、ご家庭で過ごして来て初めて幼稚園生活に入った人など、様々な経験と経緯の中で、255名の子ども達の新しい生活がスタートいたしました。何と申しましても、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための措置として、国からも緊急事態宣言が発せられて、予定しておりました生活の全てに近い自粛の中で保育が行えずに4月を終えようとしております。保護者の皆さま方にも、保育がどうしても必要な方に申請をしていただき、ご協力をいただく中で4月の幼稚園は50名余り子ども達で活動を行って参りました。この間、子ども達はもとより、保護者のご家族の方々の働かれておいでの職場も同じようにコロナ感染の危険の中にあります。また、幼稚園で働く先生方にとりましても同様の状況下にありますので、どなたが感染しても恐ろしく、その上、人様に感染させる立場に成ることは、もっと辛いことでもあります。身近な人たちがこの感染に合わずに、年明けから過ごせたことに奇跡とさえ感じるのです。非常事態の終息宣言を待ち望んで居るところです。

ご専門の方々にも一日も早く、この新型コロナウイルスに効く薬の開発を願うことしかないのではないかと不安は尽きませんが、一方で私たちが学び、やれることは無いかを改めて考える期間なのではないかと思うのであります。幼稚園でも、避難練習、交通安全教室、生活の中での怪我や事故を防ぐ学びの機会を定期的に行っておりますが、**自分の命は自分で守る！**こんな言葉を投げかけることが相応しいのかは分かりませんが、自立に向かって生きる子ども達が、出来ることを考える機会になることを願って実施しております。普段何気なく生活を送って支障もない環境下で、繰り返して育つものもあり大切な日々の営みもありますが、こんな非常事態の不自由な生活を送らなければならない時に、感じることは大きな学びになります。私たちは今の生活が当たり前、生活の基準も此処にありますので、一日も早く脱したい、そればかりでは勿体ないのではないかと思います。大人が与える環境や状況もありますが、子どもが考える生活や思うことが、きっと有るはずで。何も出来ないのではなく、何もないところから遊びを見出す。生活を創り出す力を大人が奪うことは、この時代の子育てに禍根を残すことになります。こんな時こそ、子どもの中から湧き出る心に寄り添うことが、コロナに対する心構えの育ちにも成るのかと思います。私たちも不自由をしのいで過ごして参りましょう。